

「坂野中学校創立50周年記念事業」として以下の事業を実施した。

- 記念誌『久遠の光』の発刊
- 記念広場「坂中フレンドリーパーク」の新設
- 体育館放送設備の新装
- 『記念テレホンカード』の作成
- 駐車場の新設
- 中国山東省青島市阜安中（フーアンチュウ）代表団との交流
- 創立50周年記念式典の挙行（平成9年10月18日）

記念講演 講師 江藤病院長 江藤和子先生（第16回卒業生）

演題「坂中と私の50年」

坂野中学校 創立50周年を祝い式典

現在の中学校は、昭和22年4月1日に6・3・3制の実施により本年4月をもって50周年を迎えました。これを記念し、坂野中学校（成川嘉則校長、419人）においても10月18日、創立50周年記念式典や記念講演会が行われ、西川政善市長、尾崎義明市議会議長ら来賓をはじめ学校関係者や全校生徒が出席されました。

式典では、坂東和之教頭の開式のことばの後、成川校長が「この節目を契機として、生徒たちが西暦2千年の新世紀に向かって大きく飛躍することをせつに願います。私たちの願っている道は、一人ひとりが輝いて生きることに、差別のない真の自由、平等な社会、地球上から戦争がなくなる日を迎えることとあります。生徒の皆さんは、自分の目標に向かって力いっぱい歩まれますよう希望します」と式辞を述べられました。

その後、花枝吉浩教育長、米崎孝記念事業推進協議会会長、大和忠広PTA会長のあいさつに続き、記念事業推進協議会、歴代校長、歴代PTA会長の高瀬寄付者に感謝状が贈られた他、記念作文の優秀者や校庭の



一部に設けられた記念広場「坂中フレンドリーパーク」の広場名や図柄の優秀者にそれぞれ表彰状が贈られました。

来賓のあいさつに立った西川市長は「在校生の皆さんには、この記念すべき時期に坂野中学校に籍を置くことを誇りとし、勉学・愛校・關魂の校訓のもと、勉学にスポーツにと母校の名譽のために励んでこられた諸先輩の足跡を引き継ぎ、新たな未来へと向かってしっかりと歩を進められることを望みます」と祝辞を述べられました。その後、吉原智映君が「50周年にあたり、卒業生の方たちの前で坂中の良き伝統を引き継いで行くことをここに宣言します」と力づよく生徒代表のことばを述べられました。

記念講演では、江藤病院長・江藤和子氏（第16回卒業生）が招かれ「坂中と私の50年」と題し講演。坂中時代の思い出や人生において何をすべきかなどの訴えに、生徒たちは熱心に耳を傾けていました。

また、同校では、記念事業として記念広場「坂中フレンドリーパーク」（440㎡）の新設や体育館放送設備の新装などをされた他、記念誌「久遠の光」を来年2月に発刊される予定です。



生徒代表のことばを述べる 吉原君



小松島市長 西川 政善 氏



小松島市議会議長 尾崎 義明 氏



記念講演講師 江藤 和子 氏



推進協議会長 米崎 孝 氏